

平成6年度農業分野個別研修員
受け入れ事業実施報告書

平成7年4月

国際協力事業団
筑波国際農業研修センター



はじめに

平成6年4月より筑波国際農業研修センターに移管された農業分野の個別研修員受け入れ事業は、言うまでもなく、分野特化によるJICA研修事業のより効果的な技術移転を目指すものであり、農業分野における研修の質の向上は、専門研修センターとしての当センターの責務であると考えます。

当センターでは、この1年間を通じ、プロジェクト担当事業部との連携を強化する試みの中で農業分野の研修の質の向上を目指してきたが、本報告書により、その業務実施内容を報告するとともに今後のさらなる業務の改善への提案を行うこととした。

個別研修の総合実施報告が分野別の形態で行われることは、これまでに例のないことであり、本報告書が、今後の地方センターの分野別あるいは地域別特化において一助となることを希望するものである。

平成7年4月

筑波国際農業研修センター

所長 山縣 正安

2733 /

JICA LIBRARY



1118622181

国際協力事業団

27331

目 次

1	概要	1
2	業務移管	1
3	受け入れ国・研修分野及び受け入れ形態	1
	(1) 受け入れ国	1
	(2) 研修分野	4
	(3) 受け入れ形態	5
	1) 分類結果	6
	2) カウンターパート研修について	6
4	研修案件原課	6
5	受け入れ関係機関	7
6	受け入れ手続き	9
	(1) 研修開始月	9
	1) JICAの集団・特設・合同コースへの参加	9
	2) それ以外の単独の個別コースへの参加	9
7	研修内容	10
	(1) 研修期間	10
	(2) 視察研修	10
	(3) 技能研修（集団研修参加をのぞく）	12
	1) カウンターパート	12
	-プロ技協-	
	-個別派遣専門家-	
	2) 国別特設	12
	-カンボディア「農村開発」-	
	-カンボディア「農薬安全使用」-	
	3) 国際機関	13
	-南アフリカ「農村開発のための低投入型野菜栽培」-	
	-南アフリカ「農村開発のための小規模農業経営改善」-	
	4) 個別一般	13
	(4) カウンターパートの集団研修参加	13
	(5) カウンターパート合同研修	14
	1) 農薬安全使用体制整備コース	14
	2) 灌漑排水合同コース	14
	(6) その他	14
8	研修員概要	15
9	センター／支部移管	15
10	評価方法	17
	(1) マンスリーレポート	17
	(2) デイリーレポート	17
	(3) その他	17

1 概要

農業分野個別研修員受け入れ業務は、平成6年4月より以下のスキームで当研修センターに業務移管され、平成5年度に来日した56名（継続分）と平成6年度中に来日した243名（新規分）を合わせ、計299名の研修員の受け入れ及び研修実施業務を行った。

- ・農業分野の個別研修を全面移管すること。
- ・ただし、林業と畜産分野の研修は現時点では移管されないこと。
- ・高級・準高級研修員は、従前どおり本部研修事業部で所管すること。

当センターは、平成5年度まで、JICAの実施する農業分野集団研修コース26コースのうち10コースを所管していたが、この個別研修業務移管により集団・個別研修の2形態の研修を実施することとなり、農業分野基幹研修センターとしての位置付けがさらに強化された。また、平成7年度からは、東京国際研修センター（TIC）から5つの農業分野集団コースが当センターへ移管される予定である。

2 業務移管

平成6年4月から個別研修業務が移管されたが、準備段階での引き継ぎが十分でなかったことから、年度当初かなり情報不足の状態スタートせざるを得なかった。案件ファイルが4月第2週まで当センターに引き渡されなかったことや、本部から受入回答を発信した後に当センターに業務が引き渡されるケースが6月まで散見されたこと等、受け入れ業務がスムーズに進捗するまで若干の混乱がみられたが、一方、当センター独自に、個別研修員受け入れマニュアルを開発し担当者配布するとともに、進捗管理データベースを導入する等、円滑な手続きを行う等の努力をした結果、その後は順調に進捗した。同時に、農業分野のカウンターパートの大部分を占めるプロジェクト担当原課である農業開発協力部各課とも密な連携をとり、きめ細かい対応を配慮した。

3 受け入れ国・研修分野及び受け入れ形態

新規研修243件について、受け入れ国・研修分野及び受け入れ形態を表1～3、図1～図3にまとめた。

(1) 受け入れ国

計41カ国から受け入れた（表1）。 国別で見るとカンボディアからの

表 1.筑波国際農業研修センター個別研修員受入実績 (H6 年度新規)

Tsukuba International Agricultural Training Centre (TIATC), JICA

	Field of Training 研修分野						Type of Award 受入形態					TOTAL
	Agriculture General 農業一般	Agricultural Engineering 農業土木	Agric. Products Processing 農産加工	Seniculture 養蚕	Farm Machinery 農業機械	Aid for Increased Food Supply 食糧増産援助	Country Focused Group Course 国別研修	Plain Individual 個別研修	International Organization 国際機関	Support for East Europe 東欧支援		
ASIA												
1 Bangladesh	4	1	-	-	-	-	5	-	-	-	5	
2 Cambodia	14	1	-	-	-	13	3	1	24	-	28	
3 China	8	6	-	-	4	-	18	-	-	-	18	
4 India	-	-	-	5	-	-	5	-	-	-	5	
5 Indonesia	6	5	1	-	-	-	12	-	-	-	12	
6 Korea	3	-	-	-	-	-	2	1	-	-	3	
7 Laos	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
8 Malaysia	5	1	-	-	-	-	6	-	-	-	6	
9 Mongolia	3	-	-	-	-	-	1	2	-	-	3	
10 Myanmar	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	2	
11 Nepal	4	3	-	-	-	-	7	-	-	-	7	
12 Pakistan	4	1	-	-	-	-	5	-	-	-	5	
13 Philippines	15	7	1	-	1	-	23	1	-	-	24	
14 Sri Lanka	9	-	1	-	-	-	10	-	-	-	10	
15 Thailand	10	11	-	-	-	-	21	-	-	-	21	
16 Viet-Nam	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	2	
Sub-total	86	40	3	5	5	13	123	5	24	0	152	
MIDDLE EAST												
17 Egypt	3	2	-	-	-	-	5	-	-	-	5	
18 Iran	1	1	-	-	1	-	3	-	-	-	3	
19 Turkey	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
20 U.A.E	1	1	-	-	-	-	2	-	-	-	2	
Sub-total	5	5	0	0	1	0	11	0	0	0	11	
AFRICA												
21 Cote d'Ivoire	-	2	-	-	1	-	3	-	-	-	3	
22 Ghana	1	-	-	-	1	-	2	-	-	-	2	
23 Kenya	4	2	-	-	1	-	7	-	-	-	7	
24 Senegal	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
25 Sierra Leone	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	
26 South Africa	13	-	-	-	-	-	-	-	13	-	13	
27 Tanzania	1	1	-	-	-	-	2	-	-	-	2	
28 Zambia	2	2	-	-	-	-	2	2	-	-	4	
29 Zimbabwe	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
Sub-total	22	9	0	0	3	0	18	3	0	13	34	
LATIN AMERICA												
30 Argentina	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
31 Bolivia	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	
32 Brazil	7	-	-	-	-	-	7	-	-	-	7	
33 Chile	4	-	-	-	-	-	4	-	-	-	4	
34 Colombia	1	1	-	-	-	-	2	-	-	-	2	
35 Dominican Rep.	4	1	-	-	-	1	6	-	-	-	6	
36 Ecuador	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	
37 El Salvador	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	
38 Honduras	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	
39 Mexico	3	-	-	1	-	-	4	-	-	-	4	
40 Paraguay	12	3	-	-	-	-	15	-	-	-	15	
Sub-total	35	6	0	1	0	3	45	0	0	0	45	
EUROPE												
41 Romania	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	
Sub-total	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
GRAND TOTAL (41 countries)	148	61	3	6	9	16	197	8	24	13	1	243

Remark: -Number of Participants Received in FY1993 and Stayed by FY1994 is not Included in this Data.
-Number of Individual Participants Participated in TIATC GROUP Training Courses is Included in this Data.

研修員が28名と最も多く、これは国別特設2コースとして24名を受け入れた実績による。

1カ国から5名以上を受け入れた国は17カ国（アジア：11カ国、中南米：3カ国、アフリカ：3カ国）であり、この中に1993年の日本のODA供与対象上位10カ国が全て含まれる（表2）。

表2.研修受け入れ国（受け入れ数順）

Country	No. of Participant	Country	No. of Participant
1 Cambodia	28	26 Colombia	2
2 Philippines	24	Ghana	2
3 Thailand	21	Myanmar	2
4 China	18	Tanzania	2
5 Paraguay	15	U.A.E	2
6 South Africa	13	Viet-Nam	2
7 Indonesia	12	32 Argentina	1
8 Sri Lanka	10	Ecuador	1
9 Brazil	7	El Salvador	1
Kenya	7	Honduras	1
Nepal	7	Laos	1
12 Dominican Rep.	6	Romania	1
Malaysia	6	Senegal	1
14 Bangladesh	5	Sierra Leone	1
Egypt	5	Turkey	1
India	5	Zimbabwe	1
Pakistan	5	TOTAL	243
18 Chile	4		
Mexico	4		
Zambia	4		
21 Bolivia	3		
Cote d'Ivoire	3		
Iran	3		
Korea	3		
Mongolia	3		

研修員の出身地域別では、アジア62.6%、中南米18.5%、アフリカ

りか14%、中近東4.5%、東欧0.4%の順となった(図1)。

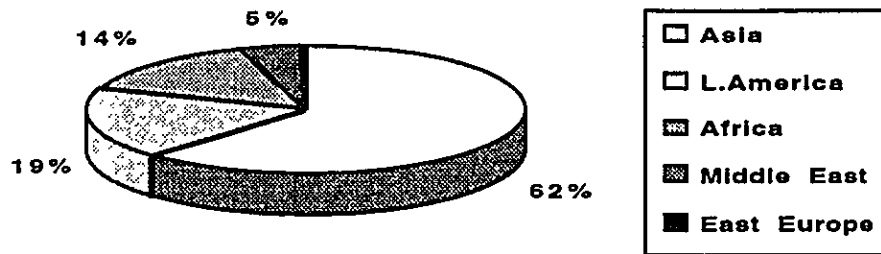


図1.個別研修員出身地域

(2) 研修分野

JICAの分野分類コードに従い研修分野を分類した(表1、図2)。

農業分野の研修については、6小分類(農業一般、農業土木、農産加工、養蚕、農業機械及び食糧増産援助)に整理されるが、比率はそれぞれ60.9%、25.1%、1.2%、2.5%、3.7%、6.6%であり、農業一般と農業土木が全体の86%を占めた。

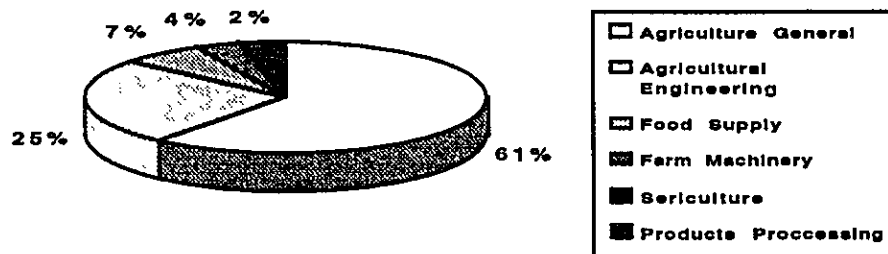


図2.個別研修分野分類

地域と研修分野の関係を見ると(表3)、アジア地域に対しては各分野の研修が総合的に行われたのに対し、中近東地域では農業土木分野の研修が50%と多く、中南米地域では農業一般分野の研修が78%と多かった。このことより、むろんデータ数が少ないため断定はできないが、中近東地域では灌漑排水を中心とする農業土木技術に対するニーズが高く、中南米地域では特に野菜栽培を中心とする栽培技術に対するニーズが高いことが裏付けら

れていると言えよう。また、アフリカ地域においては農産加工、養蚕、食糧増産援助を除けばアジア地域と同様の傾向があった。

表3.地域別研修分野

<u>ASIA</u>			<u>MIDDLE EAST</u>		
Agr.Gen.	86	56.6%	Agr.Gen.	5	45.5%
Agr.Eng.	40	26.3%	Agr.Eng.	5	45.5%
Food Sup.	13	8.6%	Food Sup.	0	0.0%
Farm.Mach.	5	3.3%	Farm.Mach.	1	9.1%
Sericulture	5	3.3%	Sericulture	0	0.0%
Food Proc.	3	2.0%	Food Proc.	0	0.0%
<hr/>			<hr/>		
	152	100.0%		11	100.0%

<u>AFRICA</u>			<u>LATIN AMERICA</u>		
Agr.Gen.	22	64.7%	Agr.Gen.	36	78.3%
Agr.Eng.	9	26.5%	Agr.Eng.	6	13.0%
Food Sup.	0	0.0%	Food Sup.	3	6.5%
Farm.Mach.	3	8.8%	Farm.Mach.	0	0.0%
Sericulture	0	0.0%	Sericulture	1	2.2%
Food Proc.	0	0.0%	Food Proc.	0	0.0%
<hr/>			<hr/>		
	34	100.0%		46	100.0%

(3) 受け入れ形態

受け入れ形態（研修の要請背景）を分類した（図3）。

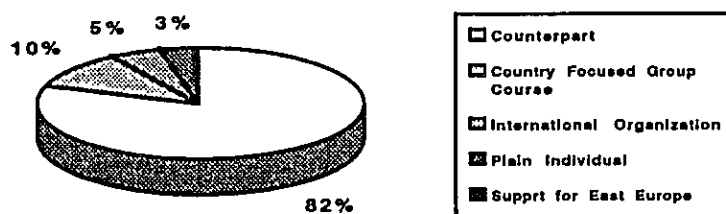


図3.個別研修受け入れ形態

1) 分類結果

様々な受け入れ形態が存在するが、平成6年度の研修は5形態（カウンターパート、国別特設、個別一般、国際機関、東欧支援）に全ての要請が分類された。

うち3受け入れ形態について説明を加えると、

国別特設 カンボディア特設2コース（農村開発及び農薬安全使用）
国際機関 南ア特設2コース（農村開発及び野菜栽培技術）
東欧支援 ルーマニア・ブランチャ県北東部地域灌漑整備計画
が含まれている。

2) カウンターパート研修について

各形態の割合を見ると（図3）、カウンターパート研修が81.1%と大部分を占め、このことから今後の研修の効果的実施に向け、プロジェクトならびに個別派遣専門家の担当原課との協力体制をさらに積極的に整備してゆくことが重要となる。具体的には、要望調査表（巻末資料参照）の充実、研修計画作成の際の担当原課を通しての専門家との意見交換、研修成果のプロジェクトサイトへの報告、帰国後の研修効果の聴取等であり、これらは、今後の農業分野の技術協力の促進に際し、研修事業の一層の効率的な実施の観点から、関係事業部とも早急に検討を開始しなければならないテーマである。

4 研修案件原課

研修員受け入れの担当原課をまとめた（表4）。図には参考までに継続研修員56名のデータも掲載した。

農業技術協力課担当のプロジェクトからの研修員が91名と最も多く、畜産技術協力課（37名）、農業開発調査課（27名）担当の研修がこれに続いた。派遣1～3課からの研修員は31名であった。

研修1～3課担当の研修員が47名含まれているが、これらは、個別一般ならびに特設コース参加者として受け入れられた研修員である。

前項にも記した研修実施における原課との協力体制強化については、今後ともこれらの部課、特に農業技術協力課、畜産技術協力課、農業開発調査課との連携が最優先となろう。

表 4 . 個別研修担当原課

		Arrived in	Arrived	Total
		FY1993	in FY 1994	
		継続	新規	合計
農業技術協力課	Agric. Technical Cooperation Div.	29	91	120
畜産技術協力課	Livestock Technical Coop. Div.	11	37	48
農業開発調査課	Agric. Develop. Study Div.	1	27	28
研修第一課	First Training Div.	0	27	27
研修第二課	Second Training Div.	0	3	3
研修第三課	Third Training Div.	0	17	17
業務第一課	First Project Management Div.	1	2	3
業務第二課	Second Project Management Div.	2	5	7
派遣第一課	First Experts Assignment Div.	5	10	15
派遣第二課	Second Experts Assignment Div.	3	13	16
派遣第三課	Third Experts Assignment Div.	2	8	10
社会開発協力第二課	Second Develop. Study Div.	1	2	3
青年海外協力隊	Japan Overseas Coop. Volunteers	1	1	2
TOTAL		56	243	299

5 受け入れ関係機関

個別研修員を受け入れた機関をまとめた（図 4、表 5）。1 件の研修日程の中で複数の機関にまたがり研修を実施したケースも多く存在するが、便宜上主要な関係機関を 1 つだけ選び集計した。

農業分野研修の性格を反映して、農水省に研修を依頼した案件が最も多く 125 名（51.6%）を占めた。次いで、当センターが直接の研修実施機関となった案件が 62 名（25.4%）に上った。また、文部省関連とは大学の研究室での受け入れ、同様に厚生省（1 名）は国立衛生試験所（ブラジル「薬用植物」）、労働省（1 名）は職業訓練校（カンボディア「地域開発計画」）、都道府県（6 名）は農業試験場、民間企業（16 名）はコンサルタント会社や農機具メーカー、他 JICA センターとは集団研修コースに参加したことを示す。

カンボディア国別特設研修（24 名）については、農水省に実施を依頼した部分も大きかったが、ここでは当センター実施の中を含めた。

表 5. 研修受け入れ機関

関係機関	研修員数	割合	
Related Organization	No. of Participants	Ratio	
筑農セ 集団コース	TIATC Group Course	24	9.9%
特設・C/P合同	C-Focused/Joint	38	15.6%
他JICAセンター	Other JICA Centres	12	4.9%
農水省	MAFF	125	51.4%
文部省	MOE	20	8.2%
厚生省	MOH	1	0.4%
労働省	MOL	1	0.4%
都道府県	Prefectural Government	6	2.5%
民間企業	Private Company	16	6.6%
	243	100%	

MAFF: Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
 MOE: Ministry of Education
 MOL: Ministry of Health
 MOL: Ministry of Labor

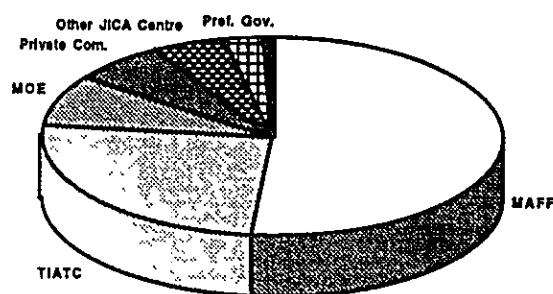


図 4. 研修受け入れ機関

当センター実施の集団研修コースには、計 24 名のカウンターパート研修員を受け入れたが、当センター所管の集団研修コースの平均研修期間が約 8 ヶ月と長期にわたり、この間研修員は、職場を長期にわたり離れざるを得ない。特に灌漑排水分野の集団コースには、10 名前後のカウンターパート研修員が参加しているが、専門家による現地でのカウンターパートへの技術移転と本邦研修との関係について再度検討する必要がある。

6 受け入れ手続き

(1) 研修開始月

各月別の研修員の来日状況をまとめた(図5)。

ここでは、JICAの集団・特設・合同コース(研修開始日が当初計画段階から決定されていたもの)に参加した研修員(図中白ヌキ)と、それ以外の単独の個別コース(相手側の希望を考慮しつつ開始日を調整したもの)に参加した研修員(図中黒)に分け作図を行った。

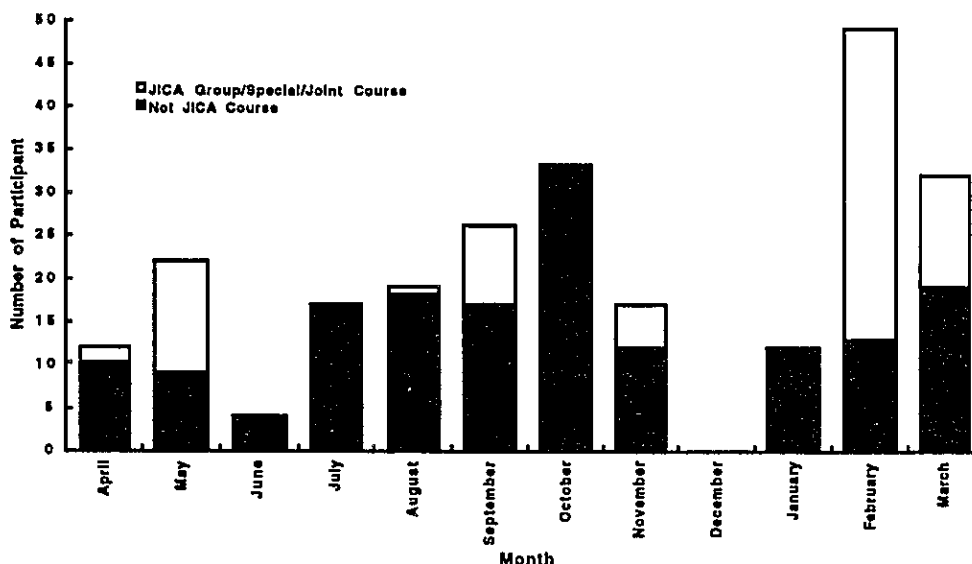


図5.月別来日数

1) JICAの集団・特設・合同コースへの参加(図中白ヌキ)

農業分野の集団研修コース(特に当センター所管のコース)の多くが春季に開始されることに連動して、2月～5月に来日が集中する傾向があり、特に、月間の来日数が2月～3月にピークを迎える要因となっている。

2) それ以外の単独の個別コースへの参加(図中黒)

月別の月間来日数は、変動が大きかった。特に10月の来日は、他の月の約2倍であった。

また、12月に来日する研修が皆無であったことは、年末年始の休暇中に研修が実施できないことを避けての結果であると考えられる。

7 研修内容

(1) 研修期間

研修期間を月数で分類し、その分布傾向を調べた（図6）。

図9と同様にJICAが実施する集団・特設・合同研修とその他の研修とを色分けし分類し表示した。

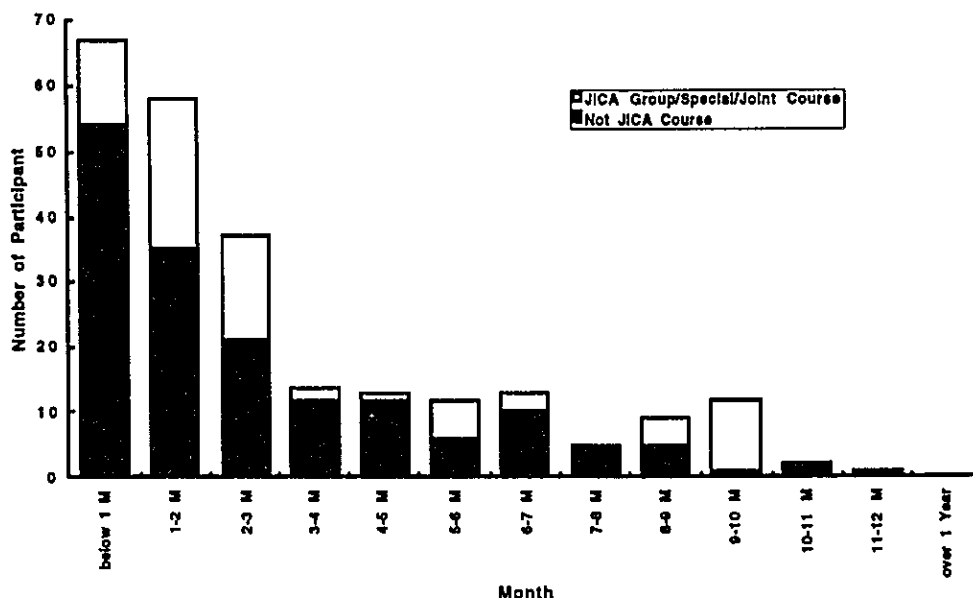


図6.研修期間

1ヵ月以内の研修が最も多く、研修期間が長くなるに従い研修の数も減少する傾向が見られた。1ヵ月以内の研修とは、一般的に見学を中心とした視察研修であり、視察研修の比率が非常に高いといえる。また、3ヵ月以内の研修が大部分を占めた。

平均滞日日数は92日（表6）と算出された。

(2) 視察研修

視察研修は、文字どおり研究所・事業所・メーカー等の見学を中心とした研修形態で、様々な事業の実施状況を見聞する中から現地の事業実施に必要な知識の習得を目指すものである。当センター所管の個別研修においては、特に農業土木分野（灌漑排水等）の研修にこの視察形態の比率が高い。

視察研修は、通常3週間程度の短期間の研修期間で実施され、また、1ヵ所の研修先当たりの滞在期間も半日～3日と短いため、研修評価や次年度計画に必要となる情報を収集しにくい傾向がある。当センターでは、必ずしも全てではないが、視察研修参加の研修員に対し日報（見学先毎の研修レポー

表6.国別個別研修員受け入れ日数（H6新規・継続分）

	Number of Particip ant	Total Duration (days)	Average (days)	Total Duration in FY1994 (days)	Average (days)	Total Duration in FY1995 (days)	Average (days)
ASIA							
1 Bangladesh	5	314	63	244	49	70	14
2 Cambodia	28	840	30	840	30	0	0
3 China	18	2,397	133	1,704	95	693	39
4 India	5	1,083	217	963	193	120	24
5 Indonesia	12	789	66	500	42	289	24
6 Korea	3	832	277	806	268	26	9
7 Laos	1	24	24	24	24	0	0
8 Malaysia	6	352	59	352	59	0	0
9 Mongolia	3	80	27	80	27	0	0
10 Myanmar	2	366	183	130	65	236	118
11 Nepal	7	417	60	363	52	54	8
12 Pakistan	5	486	97	486	97	0	0
13 Philippines	24	2,744	114	1,760	73	984	41
14 Sri Lanka	10	647	65	458	46	189	19
15 Thailand	21	1,432	68	1,045	50	387	18
16 Viet-Nam	2	317	159	79	40	238	119
Sub-Total	152	13,120	86	9,834	65	3,286	22
MIDDLE EAST							
17 Egypt	5	136	27	136	27	0	0
18 Iran	3	587	196	111	37	476	159
19 Turkey	1	28	28	2	2	26	26
20 U.A.E	2	71	36	71	36	0	0
Sub-Total	11	822	75	320	29	502	46
AFRICA							
21 Cote d'Ivoire	3	353	118	115	38	238	79
22 Ghana	2	310	155	72	36	238	119
23 Kenya	7	1,448	207	614	88	834	119
24 Senegal	1	243	243	33	33	210	210
25 Sierra Leone	1	243	243	33	33	210	210
26 South Africa	13	925	71	925	71	0	0
27 Tanzania	2	301	151	301	151	0	0
28 Zambia	4	616	154	203	51	413	103
29 Zimbabwe	1	24	24	24	24	0	0
Sub-Total	34	4,463	131	2,320	68	2,143	63
LATIN AMERICA							
30 Argentina	1	181	181	12	12	169	169
31 Bolivia	3	184	61	155	52	29	10
32 Brazil	7	447	64	447	64	0	0
33 Chile	4	331	83	305	76	26	7
34 Colombia	2	91	46	91	46	0	0
35 Dominican Rep	6	615	103	615	103	0	0
36 Ecuador	1	28	28	28	28	0	0
37 El Salvador	1	22	22	22	22	0	0
38 Honduras	1	36	36	36	36	0	0
39 Mexico	4	752	188	752	188	0	0
40 Paraguay	15	1,298	87	1,298	87	0	0
Sub-Total	45	3,985	89	3,761	84	224	5
EUROPE							
41 Romania	1	31	31	31	31	0	0
Sub-Total	1	31	31	31	31	0	0
Grand Total	243	22,421	92	16,266	67	6,155	25

ト)の提出を促し、評価資料とした。

(3) 技能研修 (集団研修参加を除く)

技能研修については、個別研修員の受け入れ形態により研修の性格が異なるため、以下に形態別の概要を示す。

当センターでは、個別研修員に対し月報 (Monthly Report) の提出を促し、評価資料とした (巻末資料参照)。

1) カウンターパート

カウンターパート研修員は、現地専門家の技術移転のための補完的な (現地では移転が困難な技術を補う) 研修の実施を目指した。

-プロ技協-

プロジェクト担当原課により年間 (もしくはプロジェクト実施全期間) の研修計画が策定されており、計画に沿って研修を実施した。

研修受け入れ先も現地専門家の本邦所属先を中心に研修することが多く、研修内容もプロジェクトより提出される要望調査表に沿って検討されることが多いため、現地で必要とされている技術の補完研修を念頭に研修を実施した。

-個別派遣専門家-

派遣事業部の年間の研修に沿って研修が行われた。

研修受け入れ先は、要望調査表記載の研修希望内容に沿って計画された。専門家に本邦所属先がある場合は、研修希望先が特定されていることも多いが、研修希望先が特定されていない場合は、当センターが農業分野専門研修センターとしてのノウハウを投入し研修先を開拓した。

いずれにおいても、要望調査表記載の研修希望内容及び希望研修先が、効果的な研修計画策定に果たす役割は大きい。要望調査表への記載内容のさらなる充実を図り、必要であれば要望調査表の様式を改訂することにより、本邦におけるカウンターパート研修の一層の充実を図ることができよう。

2) 国別特設

国別特設コースについては、カンボディアに対するコースを2コース実施した。事前に「カ」国の農村開発大臣が当センターを来訪する機会に恵まれ、同大臣と現地の適正技術について意見交換を行い、研修カリキュラム作成の参考とした。

-カンボディア「農村開発」-

12名の研修員を受け入れた。農業基盤整備、地域開発論、農協・農業

金融等の内容に、農業改良普及所等の視察を取り入れて実施した。

-カンボディア「農業安全使用」-

12名の研修員を受け入れた。農業検査に係る講義・実習、環境問題、開発・登録制度、安全対策を中心に研修を実施した。

3) 国際機関

UNDP（国連開発計画）との協調による国際機関タイプII研修として、過去3カ年にわたり南アフリカの非白人研修員を受け入れ、主に野菜栽培技術の研修を実施してきたが、本年度は以下の2コースを所管した。

終了時には、両コースの合同により、帰国後の地域活動計画レポート発表会を行った。

また、今年度で南アフリカの農業研修は4回目を迎えるため、南アフリカの農業事情を、研修員のレポートを中心とし内外の資料を参考に「南アフリカの農業」として小冊子にとりまとめ、今後の効果的な研修実施のため関係者に配布した。今回の小冊子のように国別特設形態コースの継続実施により、同一国同一分野の研修員からの情報が毎年蓄積され、それをとりまとめることにより、他にないJICA独自の国別-分野別情報を得ることができると考えられる。

-南アフリカ「農村開発のための低投入型野菜栽培」-

前年度まで3カ年にわたり実施してきた野菜栽培技術の研修コースを、本年度は、さらに南アのホームランド地域の適正技術に内容を絞り、低投入型野菜栽培技術に改編し実施した。

当センターが研修実施機関となり、研修内容の計画から実習にわたりコース運営を行った。

-南アフリカ「農村開発と小規模農業経営改善」-

農村開発手法のためのセミナー形式の研修として、一部宇都宮大学の協力を得て実施した。

4) 個別一般

8名の個別一般研修員を受け入れたが、移管通報時期が年度後半に集中したことをのぞけば、問題なく研修を実施した。

(4) カウンターパートの集団研修参加

集団研修コースは、特定分野の体系的な（基礎～応用）技術の習得を目的

としたカリキュラム編成になっている。したがって、個別研修員の研修希望内容と参加集団研修コースの内容が合致する場合には非常に効果的な研修となり得るが、現地専門家よりすでに技術移転が行われている場合、本邦研修の全期間の内容が要請と合致しない可能性がある。特に、当センター所管の集団研修コースは長期に渡るため、期間の短い個別の研修カリキュラムを計画する方が、効率的に研修を実施できる可能性があるかを検討する必要がある。

(5) カウンターパート合同研修

要請の内容が共通する複数のプロジェクトからの研修員をグループにまとめ、3コースのカウンターパート合同研修を実施した。

1) 農薬安全使用体制整備（農薬合同）コース

無償資金協力業務部が実施する食糧増産援助計画のカウンターパートに対し農薬使用法のための研修を合同で実施した。5カ国から6名の研修員が参加した。

2) 灌漑排水合同コース（2コース実施）

各地の農業水利事業の視察を中心とする研修を、要請内容ならびに研修開始希望時期が共通する研修員をグループ化し実施した。2コースに5カ国から6名の研修員が参加した。

(6) その他

平成6年度（継続）コースとなった「ペルー・野菜生産技術（西語）」コース（野生生産技術センターC/P合同）に、途中参加としてドミニカ共和国のカウンターパート研修員1名を受け入れ西語で研修を実施した。

8 研修員概要

研修員の年齢構成をまとめた（図7）。

30歳代の研修員が約半数を占めたが、年齢の構成には大きくばらつきがあった。当センターの研修員が高級・準高級の研修員をのぞく一般研修員であったことを考えると、40才以上の研修員の割合が38%と比率が大きかったことは今後の検討課題の1つとなろう。

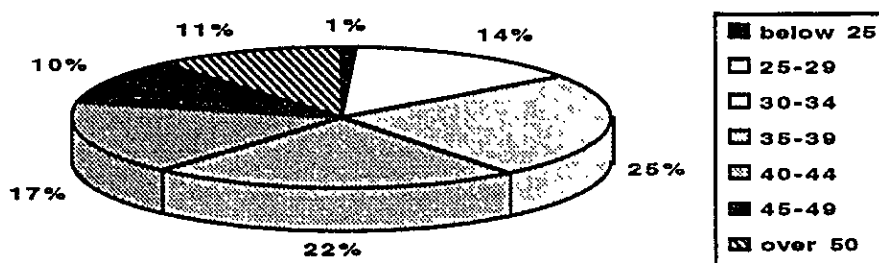


図7.個別研修員の年齢構成

9 センター／支部移管

他センター・支部への業務移管について実績をまとめた（表7）。

平成6年度内の移管は、のべ61名（実数55名）の個別研修員について、11センター・支部に対し行われた。

また、東京国際研修センター所管集団研究コース参加、野菜茶業試験場（三重県）での研修、広島大学・岡山大学・鳥取農業試験場等での研修により、東京国際研修センター、名古屋国際研修センター、中国支部それぞれへの移管が比較的多かった。

表7.他センター・支部移管実績（H6新規分）

センター/支部	移管 タイプ	研修員数	移管期間 (日)	平均期間	
Center / Branch	Type	No. of Participants	Duration of Turnover (days)	Average (days)	
東国セ	TIC	B	8	633	79
八王子セ	HITC	B	1	59	59
名古屋セ	NITC	B	8	603	75
大阪セ	OSIC	B	3	179	60
九州セ	KIC	B	7	350	50
		C	1	22	22
沖縄セ	OIC	B	4	422	106
北海道支部	Hokkaido	B	7	618	88
東北支部	Tohoku	B	5	363	73
北陸支部	Hokuriku	B	3	159	53
中国支部	Chugoku	B	8	714	89
		C	1	19	19
四国支部	Shikoku	B	5	268	54
11 Centers/Branches			61	4409	72

TIC: Tokyo International Centre
 HITC: Hachioji International Training Centre
 NITC: Nagoya International Training Centre
 OSIC: Osaka International Centre
 KIC: Kyushu International Centre
 OIC: Okinawa International Centre
 Hokkaido: Hokkaido Branch Office
 Tohoku: Tohoku Branch Office
 Hokuriku: Hokuriku Branch Office
 Chugoku: Chugoku Branch Office
 Shikoku: Shikoku Branch Office

10 評価方法

研修評価の効果を高めるため、以下の資料を独自に作成し評価資料とした。

また、カウンターパート研修におけるプロジェクトへの情報のフィードバックを充実させるべく、研修実施報告書を試行的に現地事務所あるいはプロジェクト宛送付した。平成6年度は一部プロジェクトへの送付にとどまったが、平成7年度は規模を拡大し、本邦研修と現地プロジェクトにおける技術移転計画との整合性を高めるため、現地との連携の強化につとめることとしている。

(1) マンスリーレポート (巻末資料)

研修員の月毎の研修内容・印象深い科目・問題点提起等をマンスリーレポートを通じ研修員から聴取し、研修評価資料とした。また、本レポートは、研修実施上の問題点を把握する手段としても活用された。今後、このマンスリーレポートを現地プロジェクトに送付することにより、プロジェクトの技術移転計画のための参考報告資料として大いに活用されることが期待される。

(2) デイリーレポート

個別研修形態の多くの割合を占める視察研修（短期滞在型研修）の評価資料とするため、（見学先毎の）日報を活用し、評価資料が少なくなりがちな視察型研修の評価資料とした。平成6年度は一部の視察型研修に導入したが、平成7年度は範囲を広げて導入することを計画している。

(3) その他

受け入れ先研修実施報告書、研修監理員報告書、クエスチョネアー、JICA研修実施報告書を研修評価資料としている。

MONTHLY REPORT		
		<u>Course</u>
___Group Training in TIATC, ___Group Training in other JICA Centre, ___Individual Training		
1. Name		
Surname	Middle	First

Nationality _____	Signature _____	
2. Health Condition (Fill in the following, if you have or have had any disease)		
Name of Disease	_____	
(Cured)	_____	
(Continuing)	_____	
3 Summarize your study for the month.		
Date	Content	Person-in-charge

Copy: JICA HDQ, Your Counterpart JICA Expert

Remarks: 1. This report should be submitted every month.

2 This report should be submitted within the first week of the month.

3. This report should be made typed.

Date	Content	Person-in-charge

Copy: JICA HDQ, Your Counterpart JICA Expert

4. State your most impressive subject / activity in the month.
(1) Lecture
(2) Experiment and Practice.
(3) Study Tour and Observation

Copy: JICA HDQ, Your Counterpart JICA Expert

5 State your general opinion to improve future programme.

6. Your request to JICA, if any.

*TIATC-JICA internal use only (confidential)

国名	プロジェクト名	研修科目	コース番号	受入期間	研修先
カンボディア	カンボディア農薬安全使用 (国別特設)	農薬安全使用	J- 9411646	'95/3/2 ～ '95/3/30	TIATCカンボディア国特「農薬安全使用」
カンボディア	カンボディア農薬安全使用 (国別特設)	農薬安全使用	J- 9411646	'95/3/2 ～ '95/3/30	TIATCカンボディア国特「農薬安全使用」
カンボディア	カンボディア農薬安全使用 (国別特設)	農薬安全使用	J- 9411646	'95/3/2 ～ '95/3/30	TIATCカンボディア国特「農薬安全使用」
カンボディア	カンボディア農薬安全使用 (国別特設)	農薬安全使用	J- 9411646	'95/3/2 ～ '95/3/30	TIATCカンボディア国特「農薬安全使用」
カンボディア	カンボディア農薬安全使用 (国別特設)	農薬安全使用	J- 9411646	'95/3/2 ～ '95/3/30	TIATCカンボディア国特「農薬安全使用」
カンボディア	カンボディア農薬安全使用 (国別特設)	農薬安全使用	J- 9411646	'95/3/2 ～ '95/3/30	TIATCカンボディア国特「農薬安全使用」
カンボディア	カンボディア農薬安全使用 (国別特設)	農薬安全使用	J- 9411646	'95/3/2 ～ '95/3/30	TIATCカンボディア国特「農薬安全使用」
カンボディア	カンボディア農薬安全使用 (国別特設)	農薬安全使用	J- 9411646	'95/3/2 ～ '95/3/30	TIATCカンボディア国特「農薬安全使用」
カンボディア	カンボディア農薬安全使用 (国別特設)	農薬安全使用	J- 9411646	'95/3/2 ～ '95/3/30	TIATCカンボディア国特「農薬安全使用」
カンボディア	カンボディア農薬安全使用 (国別特設)	農薬安全使用	J- 9411646	'95/3/2 ～ '95/3/30	TIATCカンボディア国特「農薬安全使用」
カンボディア	個別一般	地域開発計画	J- 9411538	'95/3/7 ～ '95/3/23	職業訓練校
フィリピン	個別一般	農産物ポストハーベスト技術	J- 9411585	'94/10/12 ～ '94/11/11	佐竹、大竹、マキ製作所、静岡製機
フィリピン	第三国研修「適正技術開発」	持続的農業	J- 9411787	'94/11/3 ～ '94/11/29	からいも交流財団
研修第三課					
ジブチ	稲作技術 (第三国研修)	稲作技術	J- 9412154	'94/10/11 ～ '94/11/2	茨城県農業総合センター
ギンビア	個別一般	灌漑排水	J- 9412347	'95/2/13 ～ '95/11/24	TIATC「灌漑排水II」
ギンビア	個別一般	野菜生産	J- 9412348	'95/2/27 ～ '95/9/22	TIATC「野菜生産II」
シエラレオネ	個別一般	米生産	J- 9411926	'95/2/27 ～ '95/10/27	TIATC「米生産」
南アフリカ	南アフリカ特設コース	農村開発のための低投入型野菜栽培	J- 9411747	'94/9/19 ～ '94/12/17	TIATC特設「農村開発のための低投入型野菜栽培」
南アフリカ	南アフリカ特設コース	農村開発のための低投入型野菜栽培	J- 9411747	'94/9/19 ～ '94/12/17	TIATC特設「農村開発のための低投入型野菜栽培」
南アフリカ	南アフリカ特設コース	農村開発のための低投入型野菜栽培	J- 9411747	'94/9/19 ～ '94/12/17	TIATC特設「農村開発のための低投入型野菜栽培」
南アフリカ	南アフリカ特設コース	農村開発のための低投入型野菜栽培	J- 9411747	'94/9/19 ～ '94/12/17	TIATC特設「農村開発のための低投入型野菜栽培」
南アフリカ	南アフリカ特設コース	農村開発のための低投入型野菜栽培	J- 9411747	'94/9/19 ～ '94/12/17	TIATC特設「農村開発のための低投入型野菜栽培」
南アフリカ	南アフリカ特設コース	農村開発のための低投入型野菜栽培	J- 9411747	'94/9/19 ～ '94/12/17	TIATC特設「農村開発のための低投入型野菜栽培」
南アフリカ	南アフリカ特設コース	農村開発のための低投入型野菜栽培	J- 9411747	'94/9/19 ～ '94/12/17	TIATC特設「農村開発のための低投入型野菜栽培」

国名	プロジェクト名	研修科目	コース番号	受入期間	研修先
南アフリカ	南アフリカ特設コース	農村開発のための低投入型野菜栽培	J- 9411747	'94/9/19 ～ '94/12/17	TIATC特設「農村開発のための低投入型野菜栽培」
南アフリカ	南アフリカ特設コース	農村開発と小規模農業経営改善	J- 9411748	'94/11/7 ～ '94/12/17	TIATC特設「農村開発と小規模農業経営改善」
南アフリカ	南アフリカ特設コース	農村開発と小規模農業経営改善	J- 9411748	'94/11/7 ～ '94/12/17	TIATC特設「農村開発と小規模農業経営改善」
南アフリカ	南アフリカ特設コース	農村開発と小規模農業経営改善	J- 9411748	'94/11/7 ～ '94/12/17	TIATC特設「農村開発と小規模農業経営改善」
南アフリカ	南アフリカ特設コース	農村開発と小規模農業経営改善	J- 9411748	'94/11/7 ～ '94/12/17	TIATC特設「農村開発と小規模農業経営改善」
南アフリカ	南アフリカ特設コース	農村開発と小規模農業経営改善	J- 9411748	'94/11/7 ～ '94/12/17	TIATC特設「農村開発と小規模農業経営改善」

研修第二課

モンゴル	個別一般	農業指導者	J- 9411900	'95/3/6 ～ '95/3/30	視察型研修
モンゴル	個別一般	農業指導者	J- 9411900	'95/3/6 ～ '95/3/30	視察型研修
大韓民国	個別一般	生理活性物質	J- 9411463	'94/10/31 ～ '95/4/26	野菜茶葉試験場花き部開花制御研究室

社会開発協力第二課

ケニア	ジョモケニヤッタ農工大学	野菜生産技術	J- 9410398	'95/2/27 ～ '95/9/22	TIATC「野菜生産」
ケニア	ジョモケニヤッタ農工大学	農業土木	J- 9410042	'94/4/4 ～ '94/10/12	岡山大

畜産技術協力課

インド	二化性養蚕技術開発計画	蚕種製造技術における微粒子病防除	J- 9410085	'94/8/22 ～ '95/3/5	蚕糸昆虫研 九州大学
インド	二化性養蚕技術開発計画	社蚕飼育技術ならびに上蒔技術	J- 9410020	'94/4/18 ～ '94/12/20	蚕糸昆虫研究所・松本支所
インド	二化性養蚕技術開発計画	二化性蚕品種の育成	J- 9410021	'94/4/18 ～ '94/12/20	蚕糸昆虫研究所・松本支所
インド	二化性養蚕技術開発計画	桑の系統撰枝技術	J- 9410088	'95/1/30 ～ '95/7/29	蚕糸昆虫農業技術研究所
インド	二化性養蚕技術開発計画	製糸技術	J- 9410022	'94/4/18 ～ '94/11/15	蚕糸昆虫研究所（岡谷）
スリランカ	植物遺伝資源センター計画（F/U）	評価（アインザイム）	J- 9410834	'94/9/19 ～ '95/1/29	農業生物資源研究所
スリランカ	植物遺伝資源センター計画（F/U）	栄養系増殖	J- 9410838	'94/11/15 ～ '95/3/26	農業生物資源研究所
スリランカ	植物遺伝資源センター計画（F/U）	栄養系増殖（組織培養）	J- 9412242	'95/3/30 ～ '95/8/13	農業生物資源研究所
タイ	カセサート大学農業普及・機械化計画（A/）	農業普及指導者	J- 9410552	'94/5/10 ～ '94/7/31	TICH「農業普及指導者」
タイ	カセサート大学農業普及・機械化計画（A/）	農家生活水準向上女性指導者	J- 9411097	'94/8/9 ～ '94/10/29	TICH「農家生活水準向上女性指導者」
タイ	カセサート大学農業普及・機械化計画（A/）	普及	J- 9411098	'94/10/2 ～ '94/10/22	沖縄センター他
タイ	チリ植物遺伝資源計画（F/U）	遺伝資源の保存管理	J- 9410140	'94/5/16 ～ '94/8/28	TIATC「植物遺伝資源」（農業生物資源研究所）

国名	プロジェクト名	研修科目	コース番号	受入期間	研修先
刊	チリ植物遺伝資源計画 (F/U)	植物検疫 (植物病理・検疫)	J- 9410430	'94/7/5 ～ '94/9/30	北海道農試
刊	チリ植物遺伝資源計画 (F/U)	大麦バイオテック育種	J- 9410432	'95/2/14 ～ '95/4/26	農研センター
刊	チリ植物遺伝資源計画 (F/U)	バイオテクノロジー	J- 9410435	'94/7/12 ～ '94/9/15	生物資源研
ドミニカ共和国	胡椒開発計画 (フェーズII)	野菜生産技術	J- 9410061	'94/4/9 ～ '94/9/20	TIATC C/P合同『野菜生産技術』
ドミニカ共和国	胡椒開発計画 (フェーズII)	農業経営計画	J- 9410457	'94/7/18 ～ '94/11/30	東京農大
ドミニカ共和国	胡椒開発計画 (フェーズII)	農業経営計画	J- 9410457	'94/7/18 ～ '94/11/30	東京農大
パナマ	園芸開発計画 (フェーズII)	普及 (落葉果樹)	J- 9410819	'94/9/27 ～ '94/12/7	果樹試験場 (安芸津支場) 全中
パナマ	園芸開発計画 (フェーズII)	果樹栽培及び土壌分析	J- 9410822	'94/9/27 ～ '94/12/21	果樹試験場 (本場、興津)
パナマ	園芸開発計画 (フェーズII)	柑橘栽培	J- 9410824	'94/9/27 ～ '94/12/7	果樹試験場口之津支場
パナマ	園芸開発計画 (フェーズII)	柑橘栽培	J- 9412290	'95/3/21 ～ '95/5/24	果樹試験場
パキスタン	植物遺伝資源保存研究計画	植物試験管内培養	J- 9410071	'94/8/29 ～ '95/1/22	果樹試験場
パキスタン	植物遺伝資源保存研究計画	施設管理	J- 9410072	'94/11/15 ～ '95/3/12	農業生物資源研究所 デンヨー
パキスタン	植物遺伝資源保存研究計画	ジーンバンク管理	J- 9410070	'94/9/5 ～ '95/3/12	農業生物遺伝研究所
パプアニューギニア	青果物流通改善計画	青果物流通改善	J- 9410601	'94/8/22 ～ '94/9/23	視察型研修(3名合同J-9410601)
パプアニューギニア	青果物流通改善計画	青果物流通改善	J- 9410601	'94/8/22 ～ '94/9/23	視察型研修(3名合同J-9410601)
パプアニューギニア	青果物流通改善計画	青果物流通改善	J- 9410601	'94/8/22 ～ '94/9/23	視察型研修(3名合同J-9410601)
ブラジル	アマゾン地域農業開発研究協力計画	研究所運営管理	J- 9411096	'94/10/4 ～ '94/11/3	農環研 国立衛生試 北里大
ブラジル	アマゾン地域農業開発研究協力計画	組織培養	J- 9411099	'94/10/31 ～ '95/2/15	農業生物資源研究所
ブラジル	アマゾン地域農業開発研究協力計画	植物生理 (アインザイム)	J- 9410128	'94/9/25 ～ '94/11/16	農業生物資源研究所 東北大学、
ブラジル	アマゾン地域農業開発研究協力計画	薬用植物	J- 9411107	'94/8/14 ～ '94/11/24	国立衛生試験場生薬部 北里大学
メキシコ	メキシコ砂漠地域農業開発計画	作物学 (1)	J- 9410013	'94/5/30 ～ '95/2/18	鳥取県園芸試験場 鳥取大
メキシコ	メキシコ砂漠地域農業開発計画	作物学 (2)	J- 9410015	'94/5/30 ～ '95/3/4	石川県砂丘地農試 鳥取大
中国	北京野菜研究センター (F/U)	ハクサイ育種	J- 9410695	'94/8/1 ～ '94/12/21	野菜茶業試
中国	北京野菜研究センター (F/U)	施設栽培	J- 9411745	'94/8/1 ～ '94/12/21	野菜茶業試
中国	北京野菜研究センター (F/U)	種子生理	J- 9411746	'94/8/1 ～ '94/12/21	東京農大

国名	プロジェクト名	研修科目	コース番号	受入期間	研修先
農業開発調査課					
ブータン	地下水農業開発計画	灌漑排水	J- 9411274	'95/3/7 ～ '95/3/26	視察型研修（農水省事業所等）
インドネシア	ギリランかんがい開発計画	灌漑開発・ダム	J- 9411358	'95/1/30 ～ '95/3/3	視察型視察型研修（農水省事業所等）
インドネシア	ヌサンテンガラ地域小規模溜池農村開発計画	灌漑開発	J- 9411359	'95/3/30 ～ '95/4/21	視察型研修
グatemala	南バクドゥン・地区農村地域排水計画	灌漑排水	J- 9411185	'94/10/11 ～ '94/11/11	農業水理事務所 三祐コンサルタンツ+視察型研修（農水省事業所等）
グatemala	南バクドゥン・地区農村地域排水計画	灌漑排水	J- 9410026	'95/2/13 ～ '95/11/24	TIATC「灌漑排水」
エジプト	オモウム農村地域排水改良計画	排水計画	J- 9411179	'94/10/11 ～ '94/11/18	三祐コンサルタンツ+視察型研修（農水省事業所等）
エジプト	オモウム農村地域排水改良計画	排水計画	J- 9412253	'95/2/26 ～ '95/3/29	視察型研修（農水省事業所等）
カボネーグ	ブノンベン周辺地域農村総合開発計画	灌漑排水	J- 9410846	'94/10/10 ～ '94/11/9	「灌漑排水C/P合同（第二）」 J-94-
コートジボワール	ヌジ川流域農村総合開発計画	灌漑排水	J- 9410294	'94/11/24 ～ '94/12/16	土地改良事業所 太陽コンサルタンツ
モンゴリア	ザンベジ川流域モンゴ地域農村開発計画	農業開発	J- 9411979	'94/9/5 ～ '94/10/14	視察型研修（農水省事業所等） 太陽コンサルタンツ
ジンバブエ	ムニャティ川流域農業開発計画	灌漑排水	J- 9412160	'95/2/27 ～ '95/3/22	視察
ミ	南部農地復旧保全計画	農地保全	J- 9411521	'94/10/11 ～ '94/11/13	農林水産省（研究所及び事業所視察）三祐コンサルタンツ他
ドミニカ共和国	リモン・デル・ジュナ地域農業開発計画	水利計画	J- 9410454	'94/7/18 ～ '94/8/13	「灌漑排水C/P合同（第一）」 J-94-11821
ペルー	クチュク・メンデレス流域灌漑計画	灌漑排水	J- 9411250	'95/3/30 ～ '95/4/26	視察型研修（農水省事業所等）
ペルー	カトマンズ盆地灌漑改善計画	灌漑排水	J- 9410815	'94/10/10 ～ '94/11/2	「灌漑排水C/P合同（第二）」 J-94-
ペルー	テライ平野農業水資源開発計画	灌漑排水	J- 9410818	'94/10/10 ～ '94/11/2	「灌漑排水C/P合同（第二）」 J-94-
パキスタン	チャシユマ右岸揚水灌漑計画	灌漑排水	J- 9411677	'94/11/6 ～ '94/11/23	水資源開発公団 日本技研（株）
フィリピン	バラワン南部農地開発計画	農業・農村開発環境保全	J- 9410001	'94/9/6 ～ '94/11/26	TICH「農業・農村開発環境保全」
フィリピン	南部ルソン高地畑地かんがい計画	灌漑排水	J- 9410002	'94/5/31 ～ '94/7/23	TICH「農地水資源開発」
ボリネーグ	サンタクルス県農産物流通システム改善計画	農産物流通	J- 9410576	'94/8/1 ～ '94/8/13	東京中央卸売市場等（視察型研修）
マレーシア	小規模貯水池農業開発計画	小規模溜池開発技術	J- 9410891	'94/10/10 ～ '94/11/2	農水省（事業所視察）
パナマ	ハリスコ州海岸地域総合開発計画	農業開発計画	J- 9411626	'94/9/28 ～ '94/10/17	視察視察型研修（農水省事業所等）+協議（農開部）
モザンビーク	中部地域農業農村開発計画	農業農村開発計画	J- 9410614	'95/2/15 ～ '95/3/16	農用地整備公団（視察） 農業開発調査課
ルワンダ	ブランチュエラ県北東部地域灌漑整備計画	灌漑排水	J- 9410683	'95/1/17 ～ '95/2/16	視察型研修（農水省事業所等）

国名	プロジェクト名	研修科目	コース番号	受入期間	研修先
中国	広東省順徳市斉杏輪中地区農村地域排水計画	排水計画	J- 9410673	'94/10/11 ～ '94/11/17	農工研 太陽コンサルタンツ
中国	広東省順徳市斉杏輪中地区農村地域排水計画	排水計画	J- 9412298	'95/2/26 ～ '95/3/25	視察型研修（農水省事業所等） 太陽コンサルタンツ
中国	黒竜江国営農場典型区農村総合開発計画	灌漑計画	J- 9410674	'94/9/18 ～ '94/10/23	視察型研修（農水省事業所等）

農業技術協力課

ｲﾝ	カスピ海沿岸地域農業開発計画	稲作機械化	J- 9411187	'95/2/20 ～ '95/11/24	TIATC【農業機械化】
ｲﾝ	カスピ海沿岸地域農業開発計画	灌漑排水	J- 9411189	'95/2/13 ～ '95/11/24	TIATC【灌漑排水】
ｲﾝ	カスピ海沿岸地域農業開発計画	農業普及	J- 9412254	'95/3/7 ～ '95/3/30	視察型研修
ｲﾝ・ｲﾝ	灌漑排水技術センター計画	灌漑排水技術	J- 9411367	'94/10/30 ～ '94/11/20	農水省地方農政局
ｲﾝ・ｲﾝ	灌漑排水技術センター計画	灌漑排水技術	J- 9411368	'94/10/30 ～ '94/11/20	農水省地方農政局
ｲﾝ・ｲﾝ	種子馬鈴薯増産研修計画	検査一般	J- 9411369	'94/6/26 ～ '94/8/11	横浜植物防疫所
ｲﾝ・ｲﾝ	種子馬鈴薯増産研修計画	増殖・栽培一般	J- 9411370	'94/11/20 ～ '94/12/17	種苗管理センター
ｲﾝ・ｲﾝ	種子馬鈴薯増産研修計画	増殖・検査技術	J- 9411371	'94/7/24 ～ '94/10/28	種苗管理センター（嬌恋）
ｲﾝ・ｲﾝ	種子馬鈴薯増産研修計画	増殖栽培	J- 9411373	'94/7/24 ～ '94/9/17	種苗管理センター（嬌恋、北海道、雲仙）
ｲﾝ・ｲﾝ	南東スラウェシ農業農村開発計画	農業普及と流通組織	J- 9410044	'94/5/10 ～ '94/9/15	TICH【農業普及指導者通】+視察型研修
ｲﾝ・ｲﾝ	南東スラウェシ農業農村開発計画	野菜生産普及	J- 9411374	'95/2/27 ～ '95/9/22	TIATC【野菜生産】
ｲﾝ	ムエア灌漑農業開発計画	稲作	J- 9410320	'95/2/27 ～ '95/10/27	TIATC【米生産】
ｲﾝ	ムエア灌漑農業開発計画	農業普及	J- 9410102	'94/5/10 ～ '94/7/31	TICH【農業普及指導者】
ｲﾝ	ムエア灌漑農業開発計画	米生産	J- 9410324	'95/2/6 ～ '95/10/28	岩手県立農業短期大学
ｲﾝ	ムエア灌漑農業開発計画	農業機械化	J- 9410327	'95/2/20 ～ '95/11/24	TIATC【農業機械化】
ｺｰﾄﾞ・ﾌﾞﾛｯｸ	灌漑稲作機械訓練計画	ポストハーベスト	J- 9410299	'94/10/11 ～ '94/11/24	ヤンマー農機
ｺｰﾄﾞ・ﾌﾞﾛｯｸ	灌漑稲作機械訓練計画	灌漑排水	J- 9410301	'95/2/13 ～ '95/11/24	TIATC【灌漑排水】
ｺｰﾄﾞ・ﾌﾞ	傾斜地域かんがい農業開発計画	水管理	J- 9410517	'94/7/18 ～ '94/8/30	【灌漑排水C/P合同（第一）】 J-94-11821
ｺｰﾄﾞ・ﾌﾞ	傾斜地域かんがい農業開発計画	野菜栽培技術	J- 9410521	'94/8/15 ～ '94/9/30	視察型研修
ｽﾄﾗﾀｼﾞ	ガンバハ農村総合開発計画	農業一般	J- 9410840	'95/1/5 ～ '95/1/25	国際農林水産業研究センター 地域農業改良普及センター
ｽﾄﾗﾀｼﾞ	ガンバハ農村総合開発計画	畑作栽培	J- 9410840	'95/1/5 ～ '95/1/25	国際農林水産業研究センター 地域農業改良普及センター

国名	プロジェクト名	研修科目	コース番号	受入期間	研修先
スリ・ランカ	ガンバハ農村総合開発計画	農業普及	J- 9410840	'95/1/5 ～ '95/1/25	国際農林水産業研究センター 地域農業改良普及センター
スリ・ランカ	マハヴェリ農村総合開発計画	畑作	J- 9410082	'94/7/18 ～ '94/8/12	北海道植物物遺伝資源センター 協和種苗
スリ・ランカ	マハヴェリ農村総合開発計画	ポストハーベスト	J- 9410083	'94/7/27 ～ '94/9/16	日本車両、TIATC等
スリ・ランカ	植物防疫所事業計画	空港検疫	J- 9410835	'95/2/27 ～ '95/3/29	横浜植物防疫所
スリ・ランカ	植物防疫所事業計画	くん蒸剤の危害防止対策	J- 9410837	'95/3/13 ～ '95/5/24	横浜植物防疫所
タイ	チェンマイ大学植物バイオテクノロジー研究計画	植物バイオテクノロジー	J- 9411114	'94/10/18 ～ '94/11/16	香川大学 三重大学
タイ	チェンマイ大学植物バイオテクノロジー研究計画	バイオテクノロジー	J- 9411117	'95/3/27 ～ '95/10/4	香川大学
タイ	チェンマイ大学植物バイオテクノロジー研究計画	環境要因と生化学制御	J- 9411115	'94/10/4 ～ '95/1/15	三重大学
タイ	灌漑技術センター計画 (フェーズII)	水管理	J- 9411123	'95/3/27 ～ '95/4/8	農業工学研究所
タイ	灌漑技術センター計画 (フェーズII)	水管理	J- 9411119	'94/10/10 ～ '94/10/25	水資源開発公団
タイ	灌漑技術センター計画 (フェーズII)	システムマネジメント	J- 9411120	'94/10/3 ～ '94/10/26	近畿農政局
タイ	灌漑技術センター計画 (フェーズII)	施設設計	J- 9411122	'94/9/18 ～ '94/10/12	水資源開発公団 山形県
タイ	灌漑技術センター計画 (フェーズII)	水質解析	J- 9411124	'94/9/19 ～ '94/11/4	農業工学研究所 青森県 茨城大学
タイ	灌漑技術センター計画 (フェーズII)	水利施設設計詳細	J- 9411127	'94/9/18 ～ '94/10/12	水資源開発公団 山形県
タイ	雑草科学計画アフターケア	雑草科学	J- 9411132	'94/10/11 ～ '95/10/9	農業環境技術研究所 他感物質研究室
タイ	雑草科学計画アフターケア	農薬の科学分析	J- 9411131	'94/7/5 ～ '94/12/27	筑波大学
タイ	東部タイ農地保全計画	施工機械・施設管理 (農業機械、施設管理)	J- 9411482	'94/11/6 ～ '94/12/2	太陽コンサルタンツ他
タイ	東部タイ農地保全計画	農地保全	J- 9411483	'94/11/6 ～ '94/12/2	農林水産省 (研究所及び事業所視察) 太陽コンサルタンツ他
タイ	東部タイ農地保全計画	農地保全	J- 9411484	'94/11/6 ～ '94/12/2	農林水産省 (研究所及び事業所視察) 太陽コンサルタンツ他
タイ	東部タイ農地保全計画	栽培、土壌改良 (施工管理基準)	J- 9411485	'94/11/6 ～ '94/12/15	農林水産省事業所視察 太陽コンサルタンツ他
タイ	東北タイ農業開発研究センターF/U	塩害土壌管理	J- 9411486	'95/1/4 ～ '95/3/3	東京大学
パラグアイ	ピラール南部地域農村開発計画	プロジェクト運営	J- 9411950	'95/1/22 ～ '95/2/15	視察型研修 (農水省事業所等)
パラグアイ	ピラール南部地域農村開発計画	プロジェクト運営	J- 9411950	'95/1/22 ～ '95/2/15	視察型研修 (農水省事業所等)
パラグアイ	ピラール南部地域農村開発計画	プロジェクト運営	J- 9411950	'95/1/22 ～ '95/2/15	視察型研修
パラグアイ	主要穀物生産強化計画	作物栽培	J- 9410131	'94/5/16 ～ '95/1/28	北海道農試

国名	プロジェクト名	研修科目	コース番号	受入期間	研修先
バングラデシュ	主要穀物生産強化計画	研究管理	J- 9410599	'94/11/29 ～ '94/12/14	農林水産省（各研究所）
バングラデシュ	主要穀物生産強化計画	大豆育種	J- 9410176	'94/5/23 ～ '94/12/22	東北農試
バングラデシュ	主要穀物生産強化計画	種子生産	J- 9410081	'94/5/5 ～ '94/12/22	北海道立植物遺伝資源センター
バングラデシュ	農牧統計強化計画	実測調査技術	J- 9410602	'94/7/25 ～ '94/9/4	農水省統計情報部
バングラデシュ	農牧統計強化計画	実測調査技術	J- 9410602	'94/7/25 ～ '94/9/4	農水省統計情報部
バングラデシュ	バングラデシュ農業大学院フェーズⅡ	園芸学	J- 9410752	'94/8/18 ～ '94/8/31	国際園芸学会口頭発表 九州大学
バングラデシュ	バングラデシュ農業大学院フェーズⅡ	パソコン専任インストラクター	J- 9410067	'94/4/21 ～ '94/10/3	OIC【情報処理要員養成】
バングラデシュ	バングラデシュ農業大学院フェーズⅡ	園芸学	J- 9410752	'94/8/18 ～ '94/8/31	国際園芸学会口頭発表、九州大学
フィリピン	稲研究所計画	研究管理情報ネットワーク	J- 9410046	'94/4/14 ～ '94/8/27	農業環境技術研究所 沖縄セ 【情報処理要員養成】
フィリピン	稲研究所計画	農業経営研究	J- 9410049	'94/7/4 ～ '94/12/15	農研センター
フィリピン	稲研究所計画	農業技術普及	J- 9410047	'94/5/10 ～ '94/7/31	TICH【農業普及指導者】
フィリピン	稲研究所計画	病害防除	J- 9410053	'94/6/7 ～ '94/10/29	農業研究センター
フィリピン	稲研究所計画	農業機械評価	J- 9410054	'95/2/27 ～ '95/6/23	TIATC【農業機械評価試験】
フィリピン	土壌研究開発センター	作物分析	J- 9410991	'94/6/23 ～ '94/10/5	農研センター
フィリピン	土壌研究開発センター	土壌物理	J- 9410993	'94/6/23 ～ '94/10/5	四国農試
フィリピン	土壌研究開発センター	土壌微生物	J- 9410994	'94/9/20 ～ '94/12/17	九州農試生産環境部土壌微生物研究室
フィリピン	土壌研究開発センター	土壌調査	J- 9410995	'94/5/10 ～ '94/8/10	九州農業試験場
フィリピン	畑地灌漑技術（国家灌漑庁）	視聴覚技術	J- 9411544	'95/3/27 ～ '95/5/4	（株）イワナシ
フィリピン	畑地灌漑技術開発計画（フェーズⅡ）	畑地灌漑（プロジェクト運営管理）	J- 9410172	'94/7/18 ～ '94/8/10	【灌漑排水C/P合同（第一）】 J-94-11821
フィリピン	畑地灌漑技術開発計画（フェーズⅡ）	水管理	J- 9410117	'94/5/9 ～ '94/11/3	TIATC【水管理】
フィリピン	畑地灌漑技術開発計画（フェーズⅡ）	野菜生産	J- 9410173	'95/2/27 ～ '95/9/30	農業研究センター TIATC【野菜生産】
フィリピン	畑地灌漑技術開発計画（フェーズⅡ）	灌漑排水	J- 9410175	'95/2/20 ～ '95/11/22	TIATC【灌漑排水】
ブラジル	セラード農業環境保全研究計画	研究管理（土壌学）	J- 9411110	'94/11/3 ～ '94/11/26	北海道農試
ブラジル	セラード農業環境保全研究計画	リモートセンシング技術	J- 9411116	'95/1/16 ～ '95/3/15	農業環境技術研究所
マレーシア	マレーシア農科大学バイオテク学科拡充計画	酵素化学・培養工学	J- 9410008	'94/4/12 ～ '94/7/2	岡山大学

国名	プロジェクト名	研修科目	コース番号	受入期間	研修先
マレーシア	マレーシア農科大学バイテク学科拡充計画	酵素化学・生物反応プロセス	J- 9410009	'94/4/12 ～ '94/6/24	岡山大学
マレーシア	マレーシア農科大学バイテク学科拡充計画	植物遺伝子工学 (酵素化学・分子生物学)	J- 9410894	'94/10/3 ～ '94/12/17	岡山大学
マレーシア	マレーシア農科大学バイテク学科拡充計画	機材操作	J- 9410895	'94/10/31 ～ '94/12/17	川西医科機械 (株)
マレーシア	マレーシア農科大学バイテク学科拡充計画	機材操作	J- 9410897	'94/10/31 ～ '94/12/17	川西医科機械 (株)
ミャンマー	灌漑技術センター計画	水理模型実験	J- 9410033	'94/4/21 ～ '94/7/19	農業工学研究所
ミャンマー	灌漑技術センター計画	灌漑排水	J- 9410080	'95/2/20 ～ '95/11/22	TIATC [灌漑排水]
大韓民国	農耕地高度利用研究計画	土壌化学	J- 9410005	'94/5/9 ～ '95/3/31	北陸農試
大韓民国	農耕地高度利用研究計画	土壌病害	J- 9410006	'94/5/9 ～ '95/3/31	千葉県農試
中国	河南省黄河沿岸稲麦研究計画	水稻栽培	J- 9410096	'94/4/19 ～ '94/10/26	農研センター
中国	河南省黄河沿岸稲麦研究計画	土壌肥料	J- 9410696	'95/3/29 ～ '95/9/19	農業研究センター
中国	河南省黄河沿岸稲麦研究計画	作物保護	J- 9410697	'94/10/30 ～ '95/4/24	農研センター
中国	河南省黄河沿岸稲麦研究計画	水稻栽培	J- 9411448	'95/2/27 ～ '95/10/15	北陸農業試験場
中国	灌漑排水技術開発研修センター	水管理	J- 9410700	'94/5/9 ～ '94/11/3	TIATC [水管理]
中国	灌漑排水技術開発研修センター	灌漑排水・システム開発	J- 9410701	'95/2/6 ～ '95/4/29	視察型研修 (農水省事業所等)
中国	灌漑排水技術開発研修センター	灌漑排水	J- 9410703	'95/2/20 ～ '95/11/22	TIATC [灌漑排水]
中国	灌漑排水技術開発研修センター	灌漑排水・システム開発	J- 9410691	'95/2/15 ～ '95/4/29	バスコインターナショナル
中国	農業機械修理技術研修計画	農業機械修理技術	J- 9410694	'94/7/4 ～ '94/7/24	農水省農業技術研修館
中国	農業機械修理技術研修計画	故障診断計測技術	J- 9410702	'94/8/29 ～ '95/2/28	農業技術研修館 株式会社
中国	農業機械修理技術研修計画	故障診断計測技術	J- 9410702	'94/8/29 ～ '95/2/28	農業技術研修館 株式会社
中国	農業機械修理技術研修計画	農業機械整備・修理	J- 9410706	'95/1/5 ～ '95/4/5	農業技術研修館
派遣第一課					
インドネシア	菅谷 晋	水管理計画	J- 9411248	'94/9/13 ～ '94/10/8	各地開拓建設事務所 (視察) 視察型研修 (農水省事業所等)
インドネシア	西村 功 (農業機械)	農業機械	J- 9411249	'95/3/27 ～ '95/7/2	東京大学
タイ	木村 和夫 専門家	水管理	J- 9411045	'94/10/10 ～ '94/10/25	水資源開発公団
フィリピン	井口 尚樹 (農業訓練・普及)	農業普及	J- 9410139	'94/5/10 ～ '94/7/31	TICH [農業普及指導者]

国名	プロジェクト名	研修科目	コース番号	受入期間	研修先
7416'ン	加藤 成一	農業協同組合	J- 9410146	'94/5/11 ～ '94/7/22	「農業協同組合」
7416'ン	柴田 寿夫 (農業 (稲作))	稲作	J- 9410141	'95/2/27 ～ '95/10/27	TIATC「米生産」
7416'ン	小倉 一雄	残留農薬	J- 9410927	'94/10/4 ～ '94/12/20	農薬検査所 (財)残留農薬研究所 他
7416'ン	石田 武士	灌漑排水	J- 9410931	'95/2/20 ～ '95/11/22	TIATC「灌漑排水」
7416'ン	長岡 明 (農業研究開発)	農業研究管理	J- 9410935	'94/9/26 ～ '94/10/19	視察型研修
7416'ン	大嶋 健男 (農業技術)	農業普及	J- 9411194	'95/3/7 ～ '95/3/30	視察型研修

派遣第三課

777'首長国連邦	三好 洋 (乾燥地農業)	乾燥地農業	J- 9411272	'94/7/11 ～ '94/8/30	筑波大学 静岡大学
ジ'アト	園芸バイオテクノロジー (研究協力)	園芸バイオテクノロジー	J- 9411153	'94/10/30 ～ '94/11/27	視察型研修 広島大学
ジ'アト	園芸バイオテクノロジー (研究協力)	園芸バイオテクノロジー	J- 9411156	'94/10/30 ～ '94/11/11	+視察型研修 広島大学
ガ'ナ	灌漑農法開発 (ミニプロ)	農業機械	J- 9410281	'95/2/24 ～ '95/11/24	TIATC「農業機械化」
ケ'ア	谷 宏則 (灌漑)	水管理	J- 9410099	'94/5/9 ～ '94/11/3	TIATC「水管理」
キ'ル'ア	森永 繁治 (営農)	農業普及	J- 9410113	'94/5/10 ～ '94/7/31	TICH「農業普及指導者」
ク'オ'コ	バガモヨ灌漑農業開発 (ミニプロ)	水管理	J- 9410110	'94/5/9 ～ '94/11/3	TIATC「水管理」
ク'オ'コ	ミオンボウッドランド農業生態総合研究 (研究協)	作物栽培学	J- 9410362	'94/8/22 ～ '94/12/21	、 京都大 宇都宮大

派遣第二課

7416'ン'イン	野菜生産技術センター (ミニプロ) 平井 靖	野菜栽培	J- 9410405	'95/3/20 ～ '95/9/16	北海道立十勝農業試験場
エ'ア'トル	加藤 親吾 (灌漑排水システム)	灌漑排水システム II	J- 9410540	'95/2/26 ～ '95/3/25	視察型研修 (農水省事業所等)
ド'ミニ'コ共和国	果樹園芸 (ミニプロ)	果樹栽培 (果樹病害)	J- 9410444	'94/8/29 ～ '94/12/21	果樹試験場
パ'ール	村山 昇 (材料試験) (佐藤 清)	材料試験 (コンクリート)	J- 9410769	'94/9/19 ～ '94/12/1	構造改善局
パ'キ'ラン	野菜種子生産	野菜種子生産	J- 9410839	'94/10/30 ～ '94/11/12	千葉県原種農場 渡辺採種場
パ'ラ'グ'アイ	トマト害虫防除 (研究協力)	野菜害虫防除	J- 9410570	'94/9/5 ～ '94/11/19	野菜茶業試験場 (社) 日本植物防疫協会
パ'ラ'グ'アイ	小野木 静夫 (病害防除) (及び後任者)	糸状菌分類	J- 9410578	'94/10/20 ～ '95/3/31	四国農業試験場 日本電子 東京農大
パ'ラ'グ'アイ	杉目 直行及び後任者 (野菜試験研究)	野菜栽培・普及	J- 9410581	'94/10/3 ～ '94/12/22	千葉県暖地園芸試験場
パ'ラ'グ'アイ'シ'ユ	農村開発実験 (研究協力)	農村開発	J- 9410748	'95/2/1 ～ '95/3/18	国立婦人教育会館 お茶の水大学
パ'ラ'グ'アイ'シ'ユ	農村開発実験 (研究協力)	農村開発	J- 9410749	'95/3/30 ～ '95/6/9	野菜茶業試験場

国名	プロジェクト名	研修科目	コース番号	受入期間	研修先
ブラジル	吉田 義雄 (リンゴ台木選定)	リンゴ台木育種	J- 9410108	'94/5/5 ~ '94/7/12	果樹試験場盛岡支場
モザイク	小寺 義郎 (果樹栽培)	果樹栽培	J- 9410537	'94/8/29 ~ '94/12/21	果樹試験場
メキシコ	基礎的養蚕技術 (ミニプロ)	桑栽培及び桑園の土壌肥料	J- 9410007	'94/4/4 ~ '94/10/8	蚕糸昆虫技術研究所



LIE